



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二一〇号

2019.11.1
責任者
平田 渉

学習活動発表会

一〇月一八日(金)に学習活動発表会を実施しました。生徒会年間テーマ『輪開』のもと、日常の学習活動の成果を、学級・学年や委員会、部活動など、それぞれ工夫を凝らして発表しました。

三年

学年の発表では、始まる直前まですごく緊張していたけれど、最後の学習活動発表会だから…という気持ちで発表し、すごく充実したものになりました。クラスの合唱の発表では、練習のときからみんなで一生懸命に取り組みました。よい合唱にするためにお互いに何回もアドバイスをしあい



ました。そうした練習のおかげで、本番がくるのが楽しみで、リラックして発表することができました。中学校最後の学習発表会、とてもよい思い出となりました。

三年

今回の学習活動発表会の特にクラスの合唱について、どう取り組んでいくかを一年生や二年生の頃の取組を思い出して考えました。二年生の頃は、練習ではみんなしっかりとして声を出すが、自信を持って本番を迎えたのですが、体育館では緊張もあって声が出ず、そのことが悔いとなってしまいました。そこで、最後の学習活動発表会となる今年、自分の中で、本番ではとにかく大きな声で歌うと決めていました。そうして迎えた本番は、自分だけでなく、クラスみんなが大きな声を出すことができ、とてもうれしかったです。

三年

私が学習活動発表会をおして学んだことは、みんなで協力する意義です。今まで「ひとりでもできる」とか「こんなに大人数でする必要はない」など思うこともたくさんありました。しかし、学習活動発表会の取組をおして、「みんなでやるからこそ、人の心を動かすことができる」ということに気づきました。ここで学んだことを忘れずに、みんなが今後の進路に向けてがんばりたいです。

三年

学習活動発表会を終えて、なんだかとてもホッとしています。中学校生活三年目となり、当然この学習活動発表会も三度目ですが、三年生になると何事においても代表となる場面も多くなり、発表することも多くなります。また、吹奏楽部でも、三年目にして初めてアドリブの長いソロを任せられることになりました。さらに英語のスピーチもありました。今年度の学習活動発表会は三度目でありながら、自分にとって初めてのことがかりました。でも、いろいろなことを積極的に取り組ん

だ結果、終わったときの達成感はずいものでした。今後もいろいろなことに積極的に取り組む、完全燃焼できるようにしていきたいです。



三年

クラスの合唱の取組でパートリーダーを務めました。女子は男子に比べ人数が少なく、なかなか大きな声量にならないなど課題がたくさんありました。本番がすごく不安でしたが、最後までその課題と向き合うことで、本番ではクラスが一つになることができました。最後の学習活動発表会を終えて、達成感でいっぱいです。

二年

私たちの合唱曲『時をこえて』は、このクラスの曲としてびったりの曲でした。本番の合唱はすごくいいものになったと思っています。みんなの心がひとつになって歌えました。練習のときからパートごとにしっかりと話し合ったり、指揮者からのアドバイスを各自の楽譜にメモしたりと、

一人ひとりがよい合唱をつくりあげ
るために、一生懸命でした。来年は
最後の学習活動発表会となるので、
今までよりもっと感動するもの
にしていきます。

二年

学習活動発表会は、合唱がすべて
ではなくて、学年や教科、部活動な
どいろいろな発表があり、どれもそ
れぞれが一生懸命取り組んだもの
ばかりでした。僕は、学年の総合的
な学習の時間、部活動、合唱の三つ
の発表に参加しましたが、どれも何
回も練習して臨んだ本番だったの
で、その発表について言葉をかけて
もらえたりするうれしく、自信に
もなりました。下校途中にも「吹奏
楽部、よかったよ！」と言葉をかけ
られたりして、とても自信になった
学習活動発表会でした。

一年

私は、合唱発表の指揮者として、
夏休みから練習を始め
ました。最初の頃は、
なかなか上手にでき
なくて、本当にできる
ようになるのか、不安
の気持ちで



いっぱいでした。でも、みんなと練習
していくうちに「みんなが歌をがん
ばっているなら、私もがんばらなく
ては…」という気持ちになり、最後
まで練習を続けることができました。

本番では、私の指揮もみんなの
合唱も練習の成果が発揮でき、こ
れまでが一番よいものになりました。
私たちのクラスの良さや明るさを
伝えることができたのではないかと
思います。

小田原・足柄下地区
中学校総合体育大会
駅伝競走の部

今年度の小田原・足柄下地区中
学校総合体育大会の最終種目であ
る駅伝競走大会が10月22日
(火)に小田原市城山陸上競技場
で実施されました。この大会は、当
初酒匂川左岸サイクリングコース
を会場として、10月13日(日)
《予備日》20日(日)《に予定され
ていましたが、台風19号の影響に
より、日程・会場・競技方法を大幅
に変更し実施することになったも

のです。さまざまな変更があったこ
ととともに当日の悪天候も重なり、
当初参加を予定していたものの参
加できなくなってしまう選手に
は残念な思いをさせてしまいました
。一月の真鶴半

島駅伝や来年度
の陸上競技大会・
駅伝競走大会で、
今大会に出場し
た選手とともに
もがんばりまし
よう。



三年

僕は、長距離走が好きなので、今
大会に参加しようと思いましたが、雨
も多く十分な練習はできなかった
けれど、仲間たちと一緒に走ること
はとても楽しいものでした。大会当
日は、城山陸上競技場の独特の緊
張感と雨が強く降っていたことから、
練習の成果が発揮できるか不安で
した。しかし、先生方の応援や塩田
先生が「あと〇周だぞーそのペース
で！」などと教えてくれたりしたこ
とで、冷静に走ることができました。
その結果、練習よりいい記録を出す
ことができました。この大会に参加

する前より、もっと走ることが楽し
くなりました。

二年

レース本番は、まずはどのくらい
のペースでいけばいいのか、迷いな
がらのスタートでした。でも、自分
なりに体が軽く、いい感じにスタート
することができ、はじめの二周は好
位置のまま走ることができました。
三周、四周と走って行くと、集団も
ばらけてきました。僕もだんだん疲
れがたまってきた。一定のペースにな
らず、何人かの選手と抜いたり抜か
されたりの繰り返しそのまま進んで
いった感じでした。そんな中でも、
なんとか城山陸上競技場のトラッ
クを七周半走りきることができ、
完走することができました。走って
いるときは、自分の後ろにはあまり
選手がいなかったか？と感じていた
けれど、思っていたよりはいい順位で
ゴールすることができました。まだ
まだ練習が足りな
いなあと感じるこ
ともあるので、最
初のペースで走り
きれようもっと
もっと練習してい
きたいです。

